学校の教育目標　「心豊かで　たくましい生徒」

東安魂

東安中学校だより
R5．5．30
No．2

「共に創る東安魂」

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校
校長　木下　隆一

「校風」「精神」は、そこにかかわりをもつ人の間で共有される、ものの考え方です。高等学校や大学には、独自の言葉あり、それを口にすることで連帯感、所属感を強くしているところがあります。

東安中は、みなさんもご存じの通り、1976年9月12日、新校舎（体育館）の竣工式を迎えるばかりだったときに、長良川堤防が決壊し、1階部分が水浸しとなる状態となりました。真新しい体育館が一転、水と泥で見るも無惨な状態になりました。マイナスからのスタート。どれだけ歯を食いしばって学校を建て直してこられたのだろう…胸が熱くなります。私達は、そういう先輩方の逆境に負けないたくましさによって、今現在、この校舎や体育館で生活しています。学校の歴史を紐解くと、私達の生活が「点」で終わるのではなく、「線」となって過去から現在へ、そしてまだ見ぬ未来へつながっていることを感じます。

今、たまたまここで学んでいる。しかし、ここにいるからこそ共有できる思いがある。こう思うことは、とても強みになると思っています。私という「一人」を、仲間の存在が、学校の歴史が強くしてくれます。

東安中に宿る、そんな「校風」「精神」を「東安魂」と呼んで、3年目を迎えます。今年度はその言葉を、生徒会がスローガンに採用しました。

「共に創る東安魂」……

「共に」には、同じ目標をもち、思いや願いを共有するという意味が込められています。「創る」には、誰かが一人で頑張るだけではなく、支えたり、声をかけたりと、かかわり続ける全員の姿を創り出すこと、そしてそれによって、「自分たちの学校を自分たちで創ること」という思いが込められています。

「東安魂」は、言うまでもなく代々受け継いできた「精神」であるとともに、これから自分たちの力で発展させ、新たな歴史を創造していく、そんな「線」につながる決意が込められています。

【本校生徒会が司会を担当】
（すのまたふれあいまつりにて）

昨年度の先輩は、「思い、願いをもって行動に移す」「誰一人置いていくことなく、全員で取り組む」という精神を注入してくれました。

令和5年度のみなさんが、どんな魂を見せてくれるのか、とても楽しみにしています。今年度は「学習文化づくり」「生活環境づくり」「健康づくり」の「づくり部会」を今までよりもさらに機能させ、スローガン達成に向けて頑張っていきます。熱く、温かくいきましょう。

交通安全教室　４／２７（木）

損害保険会社の自転車交通安全講習サービスを利用し、交通安全教室を行いました。

講師の方から、自転車による交通事故のリスクやその大きさ、交通事故を起こすことで生じる法律上の責任や交通事故に備える保険等について教えていただきました。自転車が加害者となった事例の紹介では、事故を起こした場合の悲惨な状況について教えていただき、自転車を運転するときの責任がどれだけ重いのかを実感し、交通ルールを守ることの重要性を理解することができました。

１年生　郡上・荘川研修　５／１８（木）～１９（金）

学年目標『～一人一人の力を合わせて～　「一致団結」　全力・協力・笑顔』の具現に向けて大きく前進するため、郡上・荘川で宿泊研修を行いました。

荘川の山林を守り育てる間伐作業などの森林体験や、郡上八幡での班別研修を通して、たくさんの仲間のよいところを見つけ、互いに認め合うことができました。研修の様々な場面で自分の役割を果たそうと懸命に取り組む姿や、仲間に貢献したいという思いをもって声をかける姿が仲間の気持ちを動かし、仲間との信頼関係を築くことができました。気持ちのつながりを大切にして、これからの日常生活に取り組んでいきます。

すのまたふれあいまつりボランティア　５／２０（土）

多くの生徒がボランティアに応募し、各ブースの運営に協力することができました。また、生徒会執行部による文化ホールの司会、特別支援学級の生徒による自作の小物販売、吹奏楽部による文化ホールでの演奏など、来場した方に楽しんでいただくとともに、地域の大人の方や小さい子たちと触れ合うことができました。

本年度も、グローバルに活躍しつつ、地域に貢献することにやりがいを感じる「地域社会人」を目指して、地域の方と共に活動を推進していきます。

６月・７月の予定

※　行事予定は削除してあります。